



# かたくり



令和4年度  
第5号

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

2022. 4. 28

## 「入学を歓迎する会」

25日に、1・2年生と6年生で「入学を歓迎する会」が行われました。本来であれば、全校で1年生のみなさんを歓迎する会を行いたかったのですが、コロナ禍ということもあり、全校で集まる活動が制限されているため、手指消毒やマスク着用など感染防止対策をしっかりととった上で、3学年での実施となりました。

1年生が楽しめるようにと、6年生が趣向を凝らした「学校クイズ」「学校行事絵合わせゲーム」「魚釣り」「塗り絵」の4ブースを準備し、4グループに分かれた1・2年生が順番に回りました。

進行・案内役の6年生は、1年生に優しく接しながら、わかりやすく説明したり、各ゲームでの1年生のがんばりを褒めてあげたりと、さすが最上級生という感じで、西明寺小児童会を引っ張っていこうとする気持ちを強く感じました。また、2年生の子どもたちも一緒にゲームに参加しながらも、自分たちが楽しむだけでなく、1年生にアドバイスしたりするなど、お兄さん、お姉さんらしさを随所で見せてくれました。

1年生にとって、楽しみながら他学年との関わりを深めることのできる素敵な時間になったようです。



## 「児童会出発式」

26日、児童会出発式が行われました。出発式の中では、今年度の児童会テーマ、5つの委員会（運営・広報・図書・健康・環境）の目標や活動内容、各学年の学年目標について、それぞれの委員会、各学年が、元気に楽しくわかりやすく発表してくれました。

どの委員会、どの学年も、発表の様子からは、一人一人の力を合わせ、みんなでがんばっていこうという思いが、強く感じられました。子どもたちが児童会テーマにせまるために、児童会活動に対する子どもたちの思いやアイデアを十分に引き出し、生かしていけるよう、職員一同で支援していきます。



# 「くりっこチャレンジ2022」を始めます！

「くりっこチャレンジ2022」の目的は、西明寺小学校で大切にしている『夢をかなえる4つの力』①課題に挑戦する（諦めないで努力する・解決方法を工夫する）②自分を知る（自分に自信をもつ・自分のいいところに気づく・やりたいことを見つける）③みんなと協力する（挑戦する友だちを応援してあげる）④将来のことを考える（目標に向かって希望をもつ）を具現化するために、2020年6月から行っている活動です。

日頃がんばっている子どもたちの取り組みを、みんなで励まし、応援し、認めてあげることで、「がんばってよかったな」「できるようになった」「次もがんばってみよう」という気持ちをもたせたいと考えています。

この活動の特徴として「チャレンジを応援する人」を設定しています。この応援する人は、子どものがんばりを励ましてあげるとともに、挑戦の結果を認めてあげる役割も担っています。子どもたち同士であれば少なくとも3名、大人であれば1名以上を設定することにしています。子どもたちのチャレンジする内容によっては、お家の方に応援する人を依頼することもあるかと思えます。チャレンジする内容も含めて相談に乗っていただければ幸いです。

また、チャレンジ内容の決定及びチャレンジ終了時には、「褒めること」と「認めること」の違いを意識していただけるとありがたいです。

大人が子供を「褒める」ときは、一般に大人の基準や水準で「褒める」ことが多いように思われます。そして、大人の側の基準で一定の水準に達した、超えたと評価するのが「褒める」という行為と言えます。反対に言えば、水準に達しない場合には「がんばって」と言うことはあっても、褒めることはないかもしれません。

それに対して、子どもが「認めてもらいたい」ときというのは、一般に子どもの基準や水準で「褒められたい」のではないのでしょうか。大人の目から見れば「もっとがんばれるのでは？」と感じるチャレンジであっても、また、チャレンジがうまくいかなかったとしても、子どもなりのこだわりで努力したり工夫したりしたことを「認められたい」のです。

チャレンジに取り組む際に、子ども自身に目標や工夫する点、努力する点などを考えさせ、その基準に沿ってどこまで達成できたのかを評価し、「認めてあげる」ことが重要になります。

下記のような「チャレンジの内容例」「カードの記入例」及び「くりっこチャレンジ2022について」を、本日、別紙にて配付しましたので、お子様と一緒に内容をご確認いただければ幸いです。なお、活動については、みんなで取り組んでみようと呼びかけてはいますが、あくまでも自発的な取り組みですので、子どもによっては、機が熟すまで待つことも必要になるかもしれません。各学級担任をはじめ、学校職員も子どもたちを励ましたり、相談に乗ったりしたいと思います。

明日からの連休中にチャレンジをスタートさせたいと考えている子どももいるかもしれません。その場合は、カードの作成は連休明けになってもかまいません。子どもたちのがんばりをみんなで応援できるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【チャレンジの例】

<p>○学習にかかわるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を毎日2週間続ける。</li> <li>ジャンプテスト(計算)で、連続3回満点(合格)する。</li> <li>1日1冊の本を借りて読書することを2週間続ける。</li> <li>読書「ハニーノート」で、○○の絵を少なくとも5枚に貼るようになる。</li> </ul>	<p>○体育(体づくり)にかかわるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋上が利用できるようになる。</li> <li>25cmをクロールで泳げるようになる。</li> <li>横並びで「○○とび」が6回連続できるようになる。</li> <li>1分間がたせるようになる。</li> <li>スゴボで、100mクロールで自己新記録を出す。</li> </ul>
<p>○学校生活にかかわるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△△第新聞を毎週1発表し、1ヵ月続ける。</li> <li>毎日、1年生と読んであげてくれること2週間続ける。</li> <li>忘れ物ゼロを2週間続ける。</li> <li>「ありがとう」を10日間で10回言うようになる。</li> <li>「自分からあいさつ」を1日○○人以上にする、これを2週間続ける。</li> <li>集金活動を2週間やり通す。</li> </ul>	<p>○家庭生活にかかわるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お手伝い(○○)を2週間続ける。</li> <li>毎週制作り5日間がんばる。</li> <li>家族料理で習った○○を家で作りながら、近所の人たちへのあいさつを毎日、2週間続ける。</li> <li>1週間のうち、ゲームをやらない日を○○日つくる。</li> <li>年長さんの絵に、読み聞かせを2回してあげる。</li> </ul>
<p>○学習でチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次々わの字とびが、3分間で○○回とび。</li> <li>読書夕食を家族で20冊。</li> <li>○○との交流会を成功させる。</li> <li>くりっこフラスコ(行事)を成功させる。</li> <li>6年生を道徳を学ぶためのがんばる。</li> </ul>	<p>○ボランティア(みんなのために)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全髪が伸びて汚れていたのではなかった。</li> <li>PTAの空の3ボランティアに参加した。</li> <li>スキーが滑っていたので、スキーに立てかけた。</li> <li>ワークホールの置いてある本の整理・整えをした。</li> </ul>

【くりっこチャレンジカードについて】  
各カードの書き方については、例を参考にしてください。白くならないことがあったら、何でも先生に質問してね。

**今年もみなさんのチャレンジを待っています!**

【くりっこチャレンジ2022チャレンジカード】(記入例)

4年 西明寺 くり子

わたしの 近所でもあいさつ チャレンジ!!

① チャレンジ宣言(4月29日) 宣言の気持ち

わたしは、家の近所の方々に3人以上、光臨にあいさつをする。(2週間)

② 応援してくれる人

4年 西木 たろう コメント 自分から勇気を注いで!!

4年 六本杉あかり コメント いいチャレンジだね、ファイト!

西明寺 真朝(父) コメント お父さんも応援してあいさつします。

③ チャレンジ中の様子(メモ) 宣言や目標があったら、裏に書いてもいいよ。

4/16...みんなようしたけど、何とかなった。

4/21...「あいさつできてよかったね」と、おばあさんにほめてもらった。

4/29...さんぽの道、となりのジヨシ(式)にあいさつしてみた。タイムシグまぐ「ワン」にこたえてくれた!

④ チャレンジの結果

成功 がんばろう 再チャレンジ(変更)

⑤ 応援してくれた人への一言

「たろうさんやあかりさんといっしょにあいさつしてくれた、とてもやる気があつた。」

白紙欄ポイントの書き方 4年 西木たろうさん 4年 六本杉あかりさん

⑥ ふり返り 宣言や目標があったら、裏に書いてもいいよ。

あいさつをしているうちに、近所の方々となやみよくなることができた。初めのうちは、はずかしかったが、なれてくるとだいたいじょうぶになった。今では、あいさつしない方が、「へんな気持ち」になるような気がする。次のシーズンまであいさつを並してあげてみよう!